

# 報道関係各位 企画展のご案内

Special Exhibit: Nakajima Atsushi  
Literature that continues to ask the meaning of life

# 生誕一〇〇年 中島敦展



高志の国文学館  
KOSHINOKUNI Museum of Literature

観覧料 一般500円(400円)、大学生250円(200円)、  
前売り・一般は400円 [お求めは高志の国文学館、アーツナビで]  
\*( )内は20人以上の団体料金  
\*小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は  
常設展・企画展ともに無料観覧できます。

編集委員 池澤夏樹

主催 高志の国文学館  
後援 NHK富山放送局、富山新聞社  
企画協賛 福立神奈川近代文学館/公益財団法人神奈川文学振興会  
広報協力 2019文豪ストレイドッグス製作委員会

今から出張旅行がある。  
へう、度々エッセイと一緒だから  
郷土の、大伴二週間の、ふたつ  
で、月末の帰りに来る、充分  
に島民の生活を、見とく、お祭り、  
久しぶりのリュックサックが、大分

2020.1.19 [日]—3.16 [月]

開館時間 9:30-18:00 (観覧受付は17:30まで)

休館日 毎週火曜日、2月12日 [水] (2月11日 [火] は開館)

## 山月記、名人伝、 李陵・司馬遷 生きる意味を 問い続けた文学

隴西の李徴は博学才穎、天  
宝の末年、若くして名を虎  
榜に連れ、ついで江南尉に  
補せられたが、性、狷介、  
自ら恃む所頗る厚く、賤吏  
に甘んずるを潔しとしな  
った。いくばくもなく官を  
退いた後は、故山、號略に  
帰臥し、人との交を絶って、  
ひたすら詩作に耽った。

『中島敦全集1』『山月記』(ちくま文庫)より

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 佐藤・中松・旦尾  
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

## Summary

漢学者の家系に生まれた中島敦(1909～1942)は、横浜高等女学校で教諭を務める傍ら、創作活動に打ち込みました。珠玉の作品は今も多くの人々に愛され、読み継がれています。彼が短い生涯のなかで遺した作品は 20 編あまり、著書は 2 冊を数えるのみです。作家生活は一年に満たず、パラオ赴任中の 1942 年(昭和 17 年)2 月に文壇デビューを果たしたものの、その年の 12 月に亡くなりました。作品を通して人間や文明社会に投げかけられた根源的な問題は、わたしたちにいまを生きることの意味を問い続けています。

中島敦の生誕 110 年を機に行う本展では、中島の短くも起伏に富んだ人生を「旅」と捉え、県立神奈川近代文学館で開催された特別展「中島敦展 魅せられた旅人の短い生涯」を若い世代を含む多くの人たちが作品そのものと対話できるよう再構成して紹介します。

## Profile



### 中島 敦 なかじま・あつし

作家 1909 年 5 月 5 日生まれ 東京市四谷区(現・東京都新宿区)出身  
父・田人、母・チヨの長男として生まれる。第一高等学校を経て東京帝国大学を卒業。横浜高等女学校で教壇に立つ傍ら執筆を続ける。1934 年、「中央公論」の創作募集に応じ「<sup>とらがり</sup>虎狩」を投稿、選外佳作となる。1941 年、「古譚」四篇の原稿を深田久弥に託し、国語教科書編纂のためパラオの南洋庁に赴任。1942 年 2 月、託した原稿のうち「山月記」「<sup>もじか</sup>文字禍」の 2 作が「文学界」に掲載される。南洋庁を辞して職業作家として立つ決心をする。5 月、「光と風と夢」が「文学界」に掲載され、芥川賞候補となる。7 月に第一創作集『光と風と夢』、11 月に第二創作集『南島譚』を刊行するも、12 月 4 日、喘息のため死去。享年 33。

画像提供  
県立神奈川近代文学館

## Outline

展覧会名	生誕 110 年 中島敦展
会 期	2020 年(令和 2 年)1 月 19 日(日)～3 月 16 日(月)
会 場	高志の国文学館 930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490 <a href="http://koshibun.jp">http://koshibun.jp</a>
開館時間	9:30～18:00(観覧受付は 17:30 まで)
休 館 日	毎週火曜日、2 月 12 日[水](2 月 11 日[火]は開館)
観 覧 料	一般 500 円(400 円)、大学生 250 円(200 円) ※( )内は 20 人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。
編集委員	池澤夏樹
主 催	高志の国文学館 後 援 NHK 富山放送局、富山新聞社
企画編集	県立神奈川近代文学館／公益財団法人神奈川文学振興会
広報協力	2019 文豪ストレイドッグス製作委員会
展覧会担当	高志の国文学館事業課 主任 旦尾紘一(あさお・こういち)

## Theme

### 迷いながら、悩みながら追い求めた新しい文学の境地

33年の短い生涯の中で『山月記』や『李陵・司馬遷』、『名人伝』、『光と風と夢』などの名作を遺した作家・中島敦。豊かな教養に支えられた文章の持つ独特のリズムは、ページを繰る手を心地よく促し、読むたびに人間の生に関する根源的な問いへと読者を誘います。

知識人の家系に生まれて漢学と英語を  
自在にこなし、それを主翼として  
世界文学の世界をはるか遠くまで飛行した。  
エンジンとなったのは想像力。  
南洋諸島も古代中国もアッシリアも  
彼の脳内では自宅の庭のようなもの。  
私的な領域をやすやすと逃れて  
彼が構築したのは、人間の普遍を目指す  
新しい文学だった。

(池澤夏樹)

中島敦は生前ほとんど知られておらず、没後に広く読まれるようになった作家です。人間の普遍を目指した新しい文学は、没後70年を過ぎた現代にあっても、演劇やサブカルチャーなど、様々な分野の作品に影響を与え続けています。

## Topics

- 1 県立神奈川近代文学館の「中島敦文庫」から特に貴重な資料、約100点を公開。原稿、草稿や創作ノート、書簡のほか、執筆に用いた机や愛用品を取り揃え、中島の書斎のイメージをゆかりの品で構成。創作活動の一端が垣間見える展示。
- 2 格調高い代表作「山月記」「李陵・司馬遷」「弟子」に焦点を当て、館独自の視点からテーマを掘り下げて展示。作品の理解につながる、充実した解説を付す。
- 3 中島敦に関連する作品として漫画「文豪ストレイドッグス」および細田守監督のアニメ映画「バケモノの子」を紹介。絵コンテや背景美術などの貴重資料を展示。
- 4 本展編集委員池澤夏樹氏による記念講演会を実施。世界文学における中島敦をテーマにした講演は、めったに聞くことのできない貴重な機会。
- 5 関連事業「書道パフォーマンス」において「山月記」を題材とした作品を高校生が揮毫し、エントランスに展示。自由に観覧が可能。

## Events

### (1) 高校生書道パフォーマンス (プレイベント)

[題 材] 中島敦「山月記」より

[出 演] 富山県立富山いずみ高等学校 書道部

[日 時] 1月11日(土) 13:00~13:20頃

[会 場] 当館エントランスロビー

**申込不要/参加無料**

※開会前のイベントとなります。

### (2) オープニング朗読会

[作 品] 「山月記」(ちくま文庫「中島敦全集1」、1993年)

[出 演] 鹿沼 健介 (NHK富山放送局アナウンサー)

[日 時] 1月19日(日) 11:00~11:20頃

[会 場] 当館ライブラリーコーナー

**申込不要/参加無料**

### (3) 記念講演

[テーマ] 「世界文学としての中島敦」

[講 師] 池澤 夏樹 (作家)

[日 時] 2月8日(土) 14:00~15:30

[会 場] 当館研修室 101

**申込必要/参加無料** 定員/72名(先着順)

### (4) 関連講座

[テーマ] 「中島敦文学の魅力」

[講 師] 山下 真史 (中央大学文学部教授)

[日 時] 3月1日(日) 14:00~15:30

[会 場] 当館研修室 101

**申込必要/参加無料** 定員/72名(先着順)

### (5) 企画展担当者によるギャラリートーク (展示解説)

[日 時] ①1月26日(日) ②2月8日(土) ③3月1日(日)

※ ①は 14:00 から、②・③はイベント終了後に行います。(30分程度)

**申込不要/要観覧券**

#### ■申込方法

電話・FAXにて、イベント名と番号(3もしくは4)、氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでお申し込みの方には、定員に達してご参加いただけない場合のみ、当館からご連絡いたします。

# Highlight

## ■主な出展作品

### ●第1部 彷徨する魂

- ・【絵画】「花」
- ・【雑誌】「校友会雑誌」（「下田の女」、「ある生活」、「喧嘩」、「D市七月叙景（一）」掲載）
- ・【自筆原稿】断片一「病気になつた時のこと」、断片三「朝、此の療養所で一番早く、…」
- ・【原稿】「新古今集と藤原良経」（東京帝国大学在学時レポート）
- ・【原稿】「耽美派の研究」（東京帝国大学卒業論文）
- ・【書簡】中島端「中島敦宛はがき」
- ・【原稿】「斗南先生」、「山月記」手入れ切り抜き稿、「悟浄歎異——沙門悟浄の手記」
- ・【絵画】森村玲・画『李陵・山月記』（角川文庫）装幀画
- ・【書籍】『国訳漢文大成 文学部第12巻 晋唐小説』掲載「人虎伝」
- ・【雑誌】「文学界」（「古譚」掲載）
- ・【絵画】中島春城・画「猛虎図」
- ・【書籍】『文字渦』、『わが西遊記』
- ・【自筆ノート】「ノート第一」（「北方行」ほか）、「ノート第三」（「文字渦」ほか）、「ノート第六」、「ノート第九」（「人間は誰も猛獣使い…」）
- ・【書簡】深田久弥宛て 名刺への書き入れ
- ・【絵画】「西遊記」戯画
- ・【教科書】文部省『中等国語 二（4）』、二葉『新国語 六 高等学校第三学年後期用』、三省堂『高等国語 二下 三訂版』
- ・【書簡】中島桓宛てハガキ ・中島格宛てハガキ
- ・【書籍】子供に贈った絵本
- ・【愛用品】旅行に携行したトランク（国内旅行用）
- ・【絵画】成瀬政博・画「父子像」
- ・【書】「蟄竜三冬臥老鶴万里心」（杜甫作）
- ・【愛用品】椰子の実の灰皿、机、将棋盤、駒台、駒、棋譜、旧蔵のバスケット

### ●第2部 実りのとき

- ・【原稿】「李陵」
- ・【自筆メモ】「李陵」創作予定表、手帳のメモ、創作メモ（年表）
- ・【書籍】『漢文叢書 史記第一』
- ・【原稿】「名人伝」、「弟子」、スティーヴンソン英文詩訳稿、「光と風と夢」、「章魚木の下で」
- ・【絵画】小林豊『絵本・名人伝』原画
- ・【絵画】南伸坊「子路」原画、「孔子」原画
- ・【自筆メモ】『新制最近世界地図』
- ・【書簡】深田久弥〔中島敦宛て〕
- ・【書簡】河上徹太郎〔深田久弥宛て〕
- ・【自筆メモ】「光と風と夢」改題案メモ
- ・【日記】南洋の日記

### ●漫画「文豪ストレイドッグス」関連資料

- ・「文豪ストレイドッグス」制作資料（複製原画、複製ネーム、口絵イラストパネル）
- ・中島展描き下ろしイラスト ・作者からのメッセージパネル

### ●映画「バケモノの子」関連資料

- ・「バケモノの子」制作資料（絵コンテ複製、美術ボード、背景美術）
- ・「バケモノの子」熊徹着ぐるみ、九太着ぐるみ

# Images



1 展覧会チラシ



2 中島敦 長男・桓と  
県立神奈川近代文学館蔵



3 中島敦 遺影  
県立神奈川近代文学館蔵



4 南洋へ持っていったトランク  
県立神奈川近代文学館蔵



5 「李陵・司馬遷」草稿  
県立神奈川近代文学館蔵



6 漫画「文豪ストレイドッグス」10巻口絵イラスト  
©朝霧カフカ・春河35  
発行：株式会社KADOKAWA



7 映画『バケモノの子』キービジュアル  
©2015 THE BOY AND THE BEAST FILM PARTNERS  
DVD&Blu-ray 発売元：バップ

## 高志の国文学館企画展「生誕110年 中島敦展」 広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行  
FAX 076-431-5490

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

### 【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上で掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : \_\_\_\_\_

御担当者名 : \_\_\_\_\_

E-mail アドレス : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : \_\_\_\_\_

発行・放映・掲載予定日 : \_\_\_\_\_

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- |                               |                |  |
|-------------------------------|----------------|--|
| <input type="checkbox"/> 画像 1 | 展覧会チラシ         |  |
| <input type="checkbox"/> 画像 2 | 中島敦 長男・桓と      | 県立神奈川近代文学館蔵                                  |
| <input type="checkbox"/> 画像 3 | 中島敦 遺影         | 県立神奈川近代文学館蔵                                  |
| <input type="checkbox"/> 画像 4 | 南洋へ持っていったトランク  | 県立神奈川近代文学館蔵                                  |
| <input type="checkbox"/> 画像 5 | 「李陵・司馬遷」草稿     | 県立神奈川近代文学館蔵                                  |
| <input type="checkbox"/> 画像 6 | 漫画「文豪ストレイドッグス」 | ©朝霧カフカ・春河35<br>発行：株式会社KADOKAWA               |
| <input type="checkbox"/> 画像 7 | 映画『バケモノの子』     | ©2015 THE BOY AND THE BEAST FILM<br>PARTNERS |

◎画像2～7をご使用の際は、それぞれの所蔵者名または著作権者名が分かるように、赤字でお示しした部分を必ず明記願います。